

街並みテクテク No. 17：柴崎駅～調布駅（2024-11-17）

参加者：碓貴臣、岸敦夫・美智代（夫妻）、後藤幸子、東海林節夫、黛政男、山岸任、木村芳一（敬称略；計8名）

行程：柴崎駅～調布駅 約6km

柴崎駅→野川→深大寺→水生植物園→神代植物公園→調布駅

・天気は晴れ、陽ざしに当たると暑いくらいでした。柴崎駅で集合後、山岸さんが若い頃駅の近くに住んでいたの、まずそこを目指して歩き始めました。野川を越えた狛江地区にそのマンションはまだ残っていました。しかし周囲はすっかり変わったとのこと。

・野川に戻り、河川敷に下りて川の近くを歩くことにしました。途中で祇園寺に向かうコースを取る予定でしたが、河川敷から上の道に上る階段が長い距離の間、設けられてなく、京王線、甲州街道、中央高速道路を通過して約2.3kmを歩き、やっと川に沿った上の道に上ることができました（ヤレレ）。そこから深大寺に向かうことになりました。

・深大寺は奈良時代に起源をもつと言われる古刹で、休日、また七五三ということもあって混んでいました。ここで遅れた黛さんと運よく出会えました（ヨック）。名物である深大寺そばを食べ、本堂をお参りしました。境内に国宝「銅造釈迦如来像」が安置されているのですが、残念ながら拝むことができませんでした。

・続いて、水生植物園内を巡りました。神代植物公園の分園として開かれたところで、もちろん今は咲いてないですが、花菖蒲、ハス、アサザを見ることができる木道を歩きました。

・神代植物公園は広大であり、その一部である、ばら園（バラフェスタ開催、数多くの貴重な品種展示）、大温室（熱帯花木、熱帯スイレン、ベゴニア、ラン）、および菊花展を見学し、珍しい花を楽しみました。

・その後、バスで調布駅に向かい、懇親会を行いました。

（木村芳一）



京王線・柴崎駅前にて



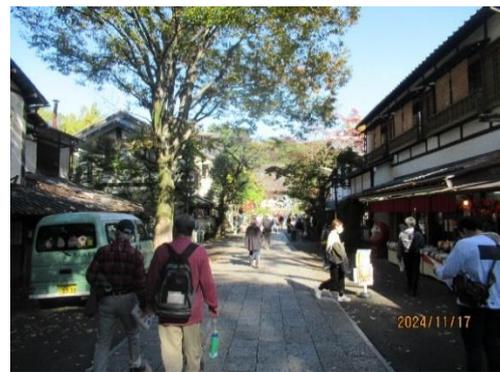
野川の河川敷



水生植物園の木道



深大寺の本堂



深大寺の山門の前の道



神代植物公園のばら園



神代植物公園の大温室内のベゴニア



大温室内のスイレン



菊花展での表彰された菊